

平成19年度事業のポイント

砂防事業

野尻川土砂搬出の継続

(写真)

- ・野尻川河口に堆積した土石流土砂の掘削を実施し、土石流の氾濫を防ぎます。掘削した土石流土砂は、鹿児島県が進めている「マリポートかごしま」へ有効利用します。

【H19年度】
・土石流掘削 約16万m³

持木川床固工の整備促進

(写真)

- ・上流部からの土石流に対し、上・中流部で床固工の整備を行い、土石流の氾濫を防ぎ、野尻・持木地区の民家や国道224号等を保全します。なお、平成19年度は、用地買収及び持木川2号・3号床固工の整備を促進します。

【H19年度】
・用地買収
・2号及び3号床固工

第二古里川溪流保全工の整備促進

(写真)

- ・上流部からの土石流に対し、溪流保全工(流路工)の整備を行い、土石流の氾濫を防ぎ、古里地区の民家、宿泊施設等を保全します。なお、平成19年度は、下流部の溪流保全工(流路工)の整備を促進します。

【H19年度】
・溪流保全工(流路工) 約L=200m

第一古里川2号えん堤の完成

(写真)

- ・ H18年度より引続き2号えん堤工事を行い、H19年度完成させます。2号えん堤の完成により土石流の氾濫を防ぎ古里地区の民家、宿泊施設等を保全します。

【H19年度】
・ 2号えん堤(完成予定)

古河良川導流堤の整備促進

(写真)

- ・ 上流部からの土石流に対し、中流部で砂防えん堤や導流堤の整備を行い、土石流の氾濫を防ぎ、高免地区の民家・県道等を保全します。なお、平成19年度は、導流堤の整備を促進します。

【H19年度】
・ 導流堤 約L = 50m

春松川上流えん堤群の整備促進

(写真)

- ・ 上流部からの土石流に対し、砂防えん堤の整備を行い、土石流の氾濫を防ぎ、野尻・春松地区の民家・国道224号等を保全します。なお、平成19年度は、引続き用地買収を促進します。

【H19年度】
・ 用地買収

長谷川砂防事業の新規直轄事業化 (施設詳細設計、用地調査等を実施)

北岳火口跡の浸食状況により、今後大規模な土石流の発生が予測される長谷川において、砂防施設の詳細設計、用地関連調査等を実施します。

また、砂防法に基づく直轄化の手続き実施し、鹿児島県の砂防事業から国の砂防事業へと正式に移行します。

【H18年度実施内容】

- ・遊砂地工等予備設計
- ・砂防指定地関連調査
- ・北岳浸食状況調査 等

【H19年度予定内容】

- ・遊砂地工等詳細設計
- ・用地関連調査
- ・北岳浸食状況調査
- ・事業計画地元説明会の実施
- ・直轄事業化手続き 等

大噴火に対応した火山砂防計画を検討

今年度はこれまで実施してきた「桜島火山防災検討委員会」や関連部会の成果を基に、大噴火時に砂防部局が果たす役割を明確にし、緊急時における減災対策の内容や、事前に準備しておくべき内容について基本方針をとりまとめます。

【H18年度実施内容】

- ・「火山防災啓発部会」により桜島火山防災広域マップを作成。
- ・「危機管理検討部会」により大噴火に対応する関係機関の役割を整理。

【H19年度予定内容】

- ・火山砂防計画検討委員会(仮称)を設立。
- ・「緊急減災対策計画」の原案作成。

野尻川土砂搬出の継続

【位置図】



桜島国際火山砂防センター

国道224号

過去の土石流氾濫状況
(S57年 国道224号)

土石流土砂掘削 約16万m³



持木川床固工の整備促進

【位置図】



過去の土石流氾濫状況
(S57年 国道224号)



第二古里川 溪流保全工の整備促進

【位置図】



国道224号

溪流保全工 約 L= 200m

過去の土石流氾濫状況
(S58年 古里温泉街)



第一古里川2号えん堤の完成

【位置図】



2号えん堤

過去の土石流氾濫状況
(S58年 古里温泉街)



古河良川**導流堤**の整備促進

【位置図】



導流堤 約 L= 50 m

古河良川

県道26号

春松川上流えん堤群の整備促進

【位置図】



用地買収

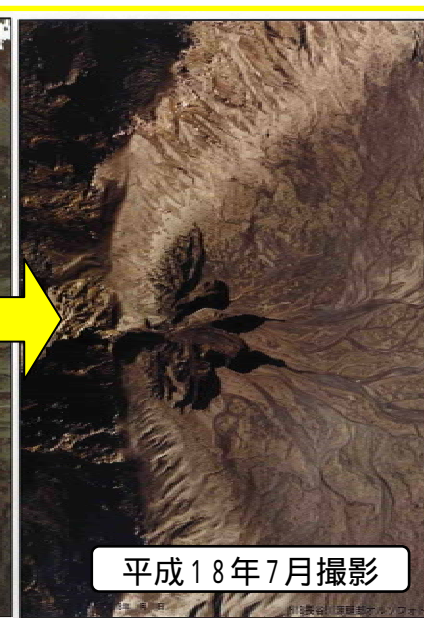
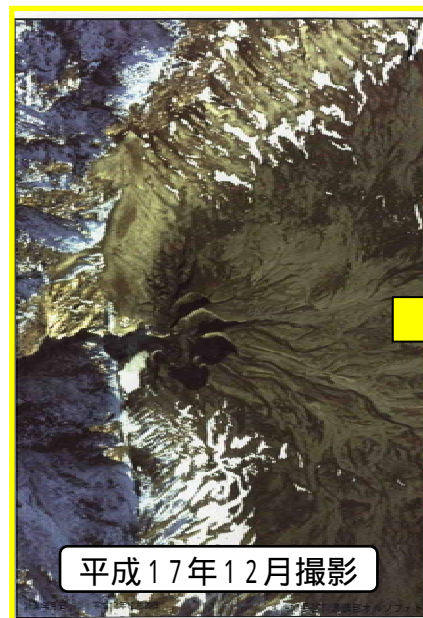
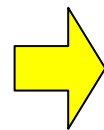
春松川

桜島国際火山砂防センター

国道224号

過去の土石流氾濫状況
(S58年 国道224号)

長谷川砂防の新規直轄事業化



年々北岳火口の浸食が拡大